

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第36週[9月6日～9月12日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：咽頭結膜熱

- 朝夕は涼しくなりつつあるが、日中はまだまだ暑い日が続いている。咽頭結膜熱が大幅に増加したため、総数も増加に転じた。
- 咽頭結膜熱（中央西：注意報→警報，高幡：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報，高知市：注意報）は全地域から報告があり，前週の2.4倍と大幅に増加した。

上位疾患構成図

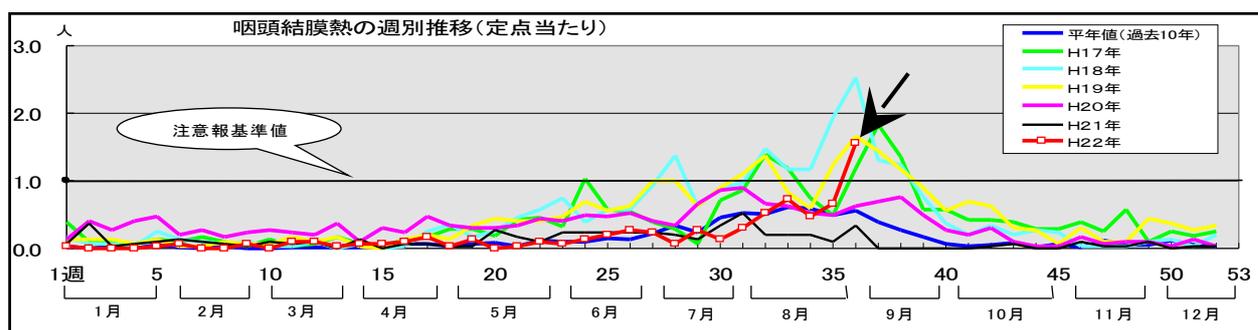


### 地域別感染症注意報・警報発生状況 第36報（2010年9月6日～2010年9月12日）



#### 咽頭結膜熱：今週 1.57 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

殆どの地域で増加し，総数は今年初めて注意報値を超し今年の最高数となった。前週に続き注意報値を超える地域が多いが，特に中央西では警報値を示している。9月頃までは流行のみられる年が多く，引き続き今後の推移が注目される。



○ 検査情報

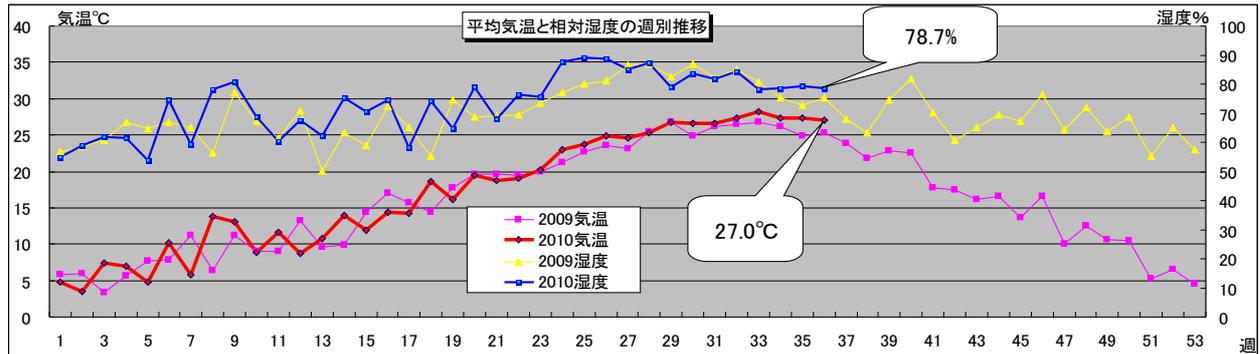
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
36	マイコプラズマ肺炎	2ヵ月 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	咽頭結膜熱	10歳 女	須崎	<i>Adenovirus 5</i>
34	気管支炎	2歳 女	高知市	<i>Respiratory syncytial virus A</i>
34	気管支炎	2ヵ月 男	高知市	<i>Respiratory syncytial virus A</i>
36	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	<i>Sapovirus</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 5例（75歳男）《高知市》，（42歳女）《中央東》，（91歳女）《須崎》，（5ヵ月男）無症状病原体保有者, 69歳男）《幡多》（今年112例）

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例（2歳男）《須崎》（今年12例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 1例（11歳男）  
 マイコプラズマ感染症 1例（5歳女）  
 アデノウイルス感染症 1例（5歳男）  
 インフルエンザの1例（11ヵ月男）は迅速キットでA型

高幡：

《もりはた小児科》：百日咳の1例（3歳女）は東浜株640倍，山口株2,560倍  
 ヘルペス性歯肉口内炎 1例（6歳女）

中央西：

《石黒小児科》：単純ヘルペス 1例（12歳男）

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：カンピロバクター腸炎 3例（3歳男，3,14歳女）  
 サルモネラ（09）腸炎 2例（6歳男，9歳女）  
 病原性大腸炎 3例（074：13歳女，018：3歳女，0128：9歳女）  
 咽頭結膜熱の12例はアデノウイルス陽性

《福井小児科・内科・循環器科》：咽頭結膜熱の2例（2,4歳女）はアデノウイルス陽性  
 伝染性紅斑の3例（母，0歳女，2歳男）は家族

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：アデノウイルス咽頭炎 1例（6歳女）  
 《吉本小児科皮膚科》：咽頭結膜熱の2例（3歳男，5歳女）はアデノウイルス陽性

全国情報第 34週（8/23～8/29）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核317例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢7例、腸管出血性大腸菌感染症232例（有症者165例、うちHUS 3例）

4類感染症：A型肝炎4例、オウム病2例、デング熱12例、日本紅斑熱4例、マラリア2例、レジオネラ症17例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎1例C型、急性脳炎2例、後天性免疫不全症候群16例（AIDS 4例、無症候11例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒8例、破傷風1例、麻しん6例

他に2010年第33週までに報告されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例、デング熱2例、レジオネラ症1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例、麻しん2例などの報告があった。

#### ◆腸管出血性大腸菌感染症（2010年9月1日現在）

2010年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、例年同様に第20週から増加し始めた。第22～24週にかけて、三重県の中学・高校における大規模な集団感染事例（189例）が発生したことで一時的に報告が急増した。その後いったん減少したが、第26週以降再び増加して第31週に200例を超え、第32週188例、第33週228例で、第34週は232例であった。本年第34週までの累積報告数2,617例は、2000年以降の各年同期間の累積報告数と比較して2001年、2007年に次いで3番目に多い報告数である（2000年2,085例、2001年3,296例、2002年2,319例、2003年1,549例、2004年2,416例、2005年2,264例、2006年2,324例、2007年2,625例、2008年2,579例、2009年2,152例）。第34週に報告のあった232例は、患者（有症状者）が165例（71%）、無症状病原体保有者が67例（29%）であった。都道府県別にみると、長野県（21例）、大阪府（20例）、東京都（19例）、福岡県（16例）、神奈川県（12例）の報告が多かった。また、奈良県では保育施設でO26 VT1による集団感染が発生し、これまでに7例が報告されている。

性別では男性104例、女性128例であり、年齢群別では0～9歳85例、10～19歳43例、20～29歳36例の順が多かった。腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）の発症者は3例（4歳、7歳、10代）おり、いずれも血清でのO抗原凝集抗体の検出により診断されていた。

第1～34週の累積報告数2,617例についてみると、報告の多い都道府県は、三重県（283例）、東京都（221例）、福岡県（196例）、愛知県（171例）、大阪府（146例）であり、性別では男性1,233例、女性1,384例、年齢群別では0～9歳771例、10～19歳530例、20～29歳406例の順に多い。

推定または確定された感染源・感染経路として、肉の喫食が記載されていたのは398例（15%）であり、そのうち生肉または加熱不十分の肉を喫食していた者が195例（1歳3例、2歳4例、3歳5例、4歳3例、5～9歳36例、10～14歳17例、15歳以上127例）であった。

上述の奈良県以外に最近発生した集団感染として、第30週から長野県の保育施設関連（O26VT1）、第31～32週に佐賀県の保育施設関連（O103 VT1）、第31～33週に愛知県の保育施設関連（O26 VT1）、第32週から栃木県の地域の祭り関連（O157 VT1・VT2）、第33週から富山県の保育施設関連（O157 VT1・VT2）などがあった。HUS発症者は累計57例（有症状者でのHUS発症率3.3%）報告されており、性別では男性24例、女性33例で、年齢群別では0～4歳30例（同7.8%）、5～9歳5例（同2.0%）、10～14歳5例（同3.2%）、15～64歳8例（同1.0%）、65歳以上9例（同5.3%）であった。そのうち菌の分離が確認されたのは41例で、内訳はO157が36例（VT1・VT2 20例、VT2 12例、VT不明4例）、O121が2例（いずれもVT2）、O26が1例（VT1）、O145が1例（VT2）、O不明1例（VT1・VT2）であった。死亡例はこれまでに2歳男性（O157 VT1・VT2、HUS発症）、70代女性（O157 VT1・VT2、HUS発症せず）、90代男性（O157 VT1・VT2、HUS発症せず）の3例が報告されている。例年の報告状況から、発生のピーク時期を迎えていると考えられ、引き続き予防対策の徹底が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。

（補）菌の検出状況については、<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html> をご参照ください。

#### ◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年

エンテロウイルス71型（EV71）は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年は例年より早い時期から検出されており、第32週までに西日本を中心に34道府県から517件が報告され、2006年（322件）を上回っている。

都道府県別では、高知県93件、大阪府43件、鳥取県42件、大分県30件、広島県27件、愛知県25件、愛媛県24件、栃木県、兵庫県各23件、和歌山県22件、山形県、奈良県、福岡県各16件、島根県15件、熊本県14件、岐阜県、香川県各10件、群馬県8件、山口県7件などである。このうち、手足口病患者から401件、無菌性髄膜炎患者から27件、ヘルパンギーナ患者から12件、急性脳炎・脳症患者から4件が検出されている。

9EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス（CA）16型19件（山形県12件、神奈川県4件、埼玉県2件、愛媛県1件）、CA6型32件（神奈川県10件、富山県9件、秋田県8件、栃木県、新潟県各2件、山形県1件）、CA4型10件（神奈川県、大阪府各3件、栃木県、奈良県、和歌山県、福岡県各1件）、CA5型3件（島根県2件、高知県1件）、CA2型2件（神奈川県、高知県各1件）、CA9型1件（鹿児島県）などが報告されている。

#### ◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～34週までの検出総数は716件であり、このうち、集団発生例からは、第9～10週山形県でO111（VT1）が7件（老人ホーム）、第16～18週京都府でO157（VT1&VT2）が4件（飲食店）、第22週兵庫県でO157（VT1&VT2）が3件（飲食店）、第27～28週三重県でO157（VT1&VT2）が6件（飲食店）、第28週山形県でO26（VT1）が6件（福祉・養護施設）、第30週神奈川県でO157（VT2）が2件（飲食店）、第30～32週岩手県でO26（VT1）が6件（保育所）、第30～32週佐賀県でO103（VT1）が11件（保育所）、第31～32週岩手県でO26（VT1）が21件（福祉・養護施設）、第32～33週富山県でO157（VT1&VT2）が16件（保育所）検出されている。

また、渡航者からは、第3週大阪府（インドネシア）、第6週千葉県（ニュージーランド）、第16週静岡県（ベトナム）、第22週千葉県（韓国）、第25週京都府（韓国）でO157が各1件検出されている。2010年1～8月にO157が36都道府県から473件、O26が28道府県から135件、その他の血清型が27都道府県から110件（このうち、O103が10都県から22件、O111が8県から20件、O91が10道府県から16件）報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(35週)	高知県(36週末累計) H22/1/4~H22/9/12	全国(35週末累計) H22/1/4~H22/9/5
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ				2		1	3 ( 0.06 )	1 ( 0.02 )	128 ( 0.03 )	2,552 ( 53.17 )	224,317 ( 47.03 )
小児科	咽頭結膜熱	4	4	22	9	5	3	47 ( 1.57 )	20 ( 0.67 )	999 ( 0.33 )	203 ( 6.77 )	25,204 ( 8.33 )
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	5	1	1		9 ( 0.30 )	10 ( 0.33 )	1,760 ( 0.58 )	763 ( 25.43 )	136,020 ( 44.94 )
	感染性胃腸炎	4	6	32	6		2	50 ( 1.67 )	52 ( 1.73 )	9,727 ( 3.21 )	7,314 ( 243.80 )	814,933 ( 269.22 )
	水痘		6	8	4	2		20 ( 0.67 )	30 ( 1.00 )	1,506 ( 0.50 )	1,546 ( 51.53 )	167,985 ( 55.50 )
	手足口病	9	16	2	3	1	5	36 ( 1.20 )	39 ( 1.30 )	3,384 ( 1.12 )	3,186 ( 106.20 )	129,526 ( 42.79 )
	伝染性紅斑	1	3	6	1			11 ( 0.37 )	4 ( 0.13 )	986 ( 0.33 )	204 ( 6.80 )	31,935 ( 10.55 )
	突発性発疹	1		9	1	2	6	19 ( 0.63 )	13 ( 0.43 )	2,266 ( 0.75 )	450 ( 15.00 )	61,641 ( 20.36 )
	百日咳				1	1		2 ( 0.07 )	2 ( 0.07 )	109 ( 0.04 )	56 ( 1.87 )	3,964 ( 1.31 )
	ヘルパンギーナ		3	4	6	1	1	15 ( 0.50 )	17 ( 0.57 )	2,878 ( 0.95 )	994 ( 33.13 )	130,699 ( 43.18 )
	流行性耳下腺炎		1	3				4 ( 0.13 )	3 ( 0.10 )	2,871 ( 0.95 )	181 ( 6.03 )	121,351 ( 40.09 )
	RSウイルス感染症									372 ( 0.12 )	760 ( 25.33 )	46,989 ( 15.52 )
	眼科	急性出血性結膜炎									6 ( 0.01 )	2 ( 0.67 )
流行性角結膜炎									2 ( 0.67 )	555 ( 0.82 )	56 ( 18.67 )	13,988 ( 20.63 )
基幹	細菌性髄膜炎								1 ( 0.14 )	15 ( 0.03 )	11 ( 1.57 )	324 ( 0.70 )
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.14 )	1 ( 0.14 )	25 ( 0.05 )	16 ( 2.29 )	574 ( 1.24 )
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.14 )	1 ( 0.14 )	153 ( 0.33 )	49 ( 7.00 )	6,011 ( 13.01 )
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									18 ( 0.04 )	21 ( 3.00 )	410 ( 0.89 )
計 (小児科定点当たり人数)	20 ( 10.00 )	40 ( 5.71 )	93 ( 8.27 )	34 ( 11.07 )	13 ( 6.50 )	18 ( 3.53 )		218 ( 7.16 )				
前週 (小児科定点当たり人数)	14 ( 7.00 )	43 ( 6.14 )	72 ( 6.18 )	24 ( 7.87 )	14 ( 7.00 )	29 ( 5.60 )			196 ( 6.35 )	27,758	18,364 ( 575.07 )	1,916,300

注 ( ) は定点当たり人数。

定点当たり

第36週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(35週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ				0.40		0.13	0.06	0.02	0.03
小児科	咽頭結膜熱	2.00	0.57	2.00	3.00	2.50	0.60	1.57	0.67	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	0.45	0.33	0.50		0.30	0.33	0.58
	感染性胃腸炎	2.00	0.86	2.91	2.00		0.40	1.67	1.73	3.21
	水痘		0.86	0.73	1.33	1.00		0.67	1.00	0.50
	手足口病	4.50	2.29	0.18	1.00	0.50	1.00	1.20	1.30	1.12
	伝染性紅斑	0.50	0.43	0.55	0.33			0.37	0.13	0.33
	突発性発疹	0.50		0.82	0.33	1.00	1.20	0.63	0.43	0.75
	百日咳				0.33	0.50		0.07	0.07	0.04
	ヘルパンギーナ		0.43	0.36	2.00	0.50	0.20	0.50	0.57	0.95
	流行性耳下腺炎		0.14	0.27				0.13	0.10	0.95
	RSウイルス感染症									0.12
	眼科	急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎									0.67	0.82
基幹	細菌性髄膜炎								0.14	0.03
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14	0.14	0.05
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.14	0.33
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.04
計 (小児科定点当たり人数)	10.00	5.71	8.27	11.07	6.50	3.53	7.16			
前週 (小児科定点当たり人数)	7.00	6.14	6.18	7.87	7.00	5.60		6.35		

## 2010年週報推移(定点当たり)

